



るということで「里海<sup>さとみ</sup>」という言葉を作ったんです。生き物って基本的に言葉が喋れない、もしくは喋っていても人間にはわからないので、海の生き物の言葉を翻訳して人に伝えるようなことがしたくて、ドリトル先生のようになりたいと思っていた少年がこういう中年のおっちゃんになってしまったという感じです（笑）。

神木 いやいや、すごくすてきです。叶<sup>かな</sup>えられてることがすごいです。

### ミックスされた海

神田 魚類学者としての夢は叶ったけど、その次のステップとして、人と海とのより良い関係を作るということに約20年前からチャンネルが少し変わってきたんです。だけどわたし自身を取り組めることなんて、たかだか数十年しかできないので、その間にポスト神田みたいな子供を何人世の中に残せるかなみたいなことで、いま里海教育っていうのをやっています。魚から環境、そして人、次に子供の教育っていうのに重点がシフトしています。

神木 なるほどなあ。いままで潜ってきた海と、柏島近辺の海って、どう違うんですか？

神田 学生時代からあちこちの海に潜ってきて、それこそ沖繩の慶良間諸島の座間味島<sup>ざまみじま</sup>っていう島があるんですけど、そこは慶良間ブルーって言われるぐらい、この色よりもさらに、作り物の入浴剤の色じゃないかっていうぐらいきれいなブルーなんですよ。すごく感動して、そこでダイビングガイドをしたりもしてたんです。でもこれは、世界で一番良いところは高知だと